

業界初の「パッチレス・プロテクション」や「バイナリレベルの脅威検出」により「ゼロディ」攻撃からも資産を守る
世界初のオールインワン“SaaS型”脆弱性管理ツール!

今日の課題

1000 1ヶ月に特定される新しいソフトウェア脆弱性の数

90% サイバー攻撃の90%ソフトウェアの脆弱性が原因

180日 脆弱性のあるソフトウェアにパッチ適用するのにかかる平均日数

CISO、MSSP及びIT管理者向けに開発された“vRx”は上記の課題を一貫して自動化・管理することにより、サイバーセキュリティ対策に対する高騰する人件費や設備費を削減します!

従来の脆弱性管理ツールやソリューションとは異なる主な特長

● アプリの自動認識とバイナリレベルの脅威解析

vRxのアプリ自動認識ツールは、組織の資産全体にわたってインストールされたアプリを検出し、最新バージョンのソフトウェアインベントリを作成します。又、アプリ脅威解析ツールは、専用アプリケーションを含む、全てのサードパーティアプリのバイナリ解析を実行して、ゼロディ脅威及びCVE脅威を含む共通脆弱性を検出します。

● 業界初のパッチレス脆弱性管理

vRxのPatchless Protection™機能は、「パッチ後の再起動などによりシステムを止められないケースや、ミッションクリティカルなインフラ」などに、ベンダーが提供するパッチを適用しなくても、ミッションクリティカルなインフラストラクチャを安全に保つことができます。高リスクの脆弱性のあるアプリをブロックし、迅速且つ安全に脅威から資産を守ります。

● 「ゼロディ」攻撃の予測と検知、エージェントの保護

vRxの「ゼロディAnalysis™ツール」は、マルウェアのアクティビティを追跡し、次に来る攻撃を予測することで、ユーザを「ゼロディ脅威」から解放すると共に、リアルタイム解析エンジンにより、サードパーティアプリを継続的に解析することによって、CVE脅威やゼロディ脅威を特定します。

● 次世代コンテキストベース・スコアリング

今日の脆弱性管理プロセスには、組織的なコンテキストが欠けています。先進企業は優先順位付けソリューションを使用しますが、収集されるデータは限られており、脆弱性のスキャン結果に結び付けられていません。vRxは、ゼロディ脆弱性予測、実行ベースの悪用スコアリングなど独自の次世代機能により、リスク管理プロセスにコンテキストを追加します(下記 xTags)。

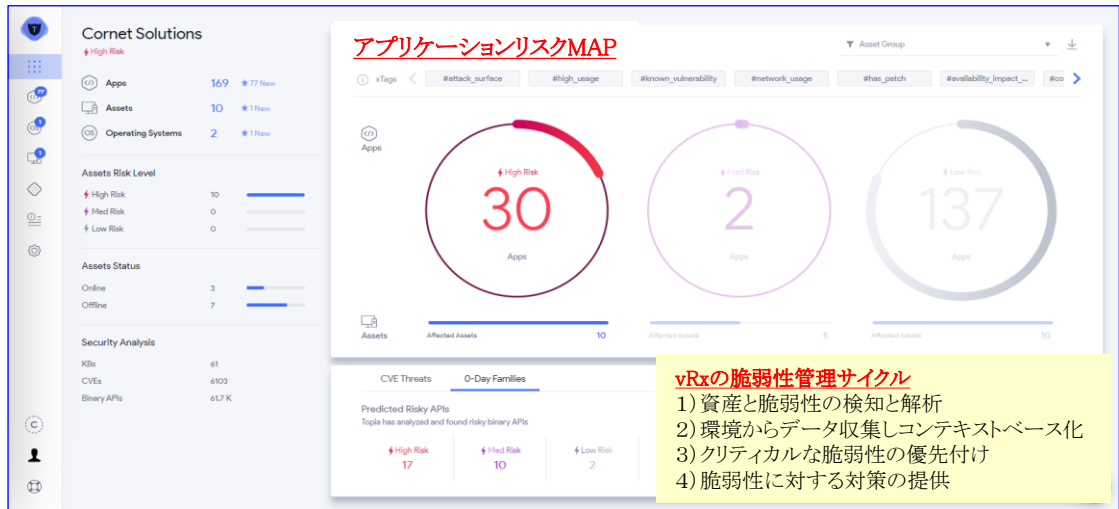
> xTags™の「コンテキスト的スコアリング」による優先順位付け

vRxのxTagsは、組織内のあらゆるアプリや資産のリスクレベルを判定するために、優先順位パラメータ、アクセス権限及びアクティビティステータスのようなコンテキスト的スコアリングを使用することにより優先順位付けします。

vRxの資産脅威解析ツールは、組織内のアクティブ資産及び非アクティブ資産を解析して、資産の全体的なエクスプロイト及びリスクのレベルに基づいてランク付けします。

> 資産脅威優先順位付けと解析

最も重要である脅威を重視します。革新的な優先順位付けエンジンは、組織インフラのコンテキストランドスケープを数千のデータポイント及びゼロディと組み合わせて、如何なる未解決のリスクも正確に突き止めます。既知の脆弱性やゼロディなどの脅威をvRxの「xTags™」メカニズムと組み合わせて、脅威とエクスプロイトの両方の結果として差し迫ったリスクの全体像を作成します。



● 効果的なリスクベースの脆弱性管理ソリューションは、オンプレミス、クラウド、自宅を問わず、何処にいても重大な脆弱性を修正できるようにしながら、より多くの脆弱性を見つけ、重大な脆弱性の数をできるだけ少なく保つためのツールを提供する必要があります。vRxの「パッチレス・プロテクション機能(業界初)」は従来のCVEやパッチベースの脅威を追跡、軽減する方法を完全に変更し、火曜日のパッチ(Patch Tuesday)からストレスを取り除きます。

業界初の“Patchless Protection™”機能

- ・パッチができない又は不可能
- ・アップグレードを望まない
- ・教えてパッチをしない

上記の場合、vRxのPatchless Protection™が一切のダウンタイム又はレポートなしでアプリケーションを保護します！

Analyze (解析)

vRxは、公式のCVEなしで、独自アプリケーションの脆弱性をも分析する機能を備えた世界初のオールインワンの脆弱性管理ソリューションです。

- ◆ App Auto Recognition
- ◆ App Threat Analysis
- ◆ Asset Threat Analysis

Prioritize (優先順位付け)

革新的な優先順位付けエンジンは、組織のインフラ・コンテキストランドスケープを数千のデータポイントとゼロデイ攻撃と組み合わせ、未解決のリスクを正確に特定します。

- ◆ xTags - Contextual Prioritization
- ◆ App & Asset Risk Scoring
- ◆ Prioritization Mapping

Act (アクション)

vRxは、分析するリスク毎に、それを排除するための推奨アクションのリストを提供し、直面しているリスクに関係なく、安全性と回復力を維持できるようにします。

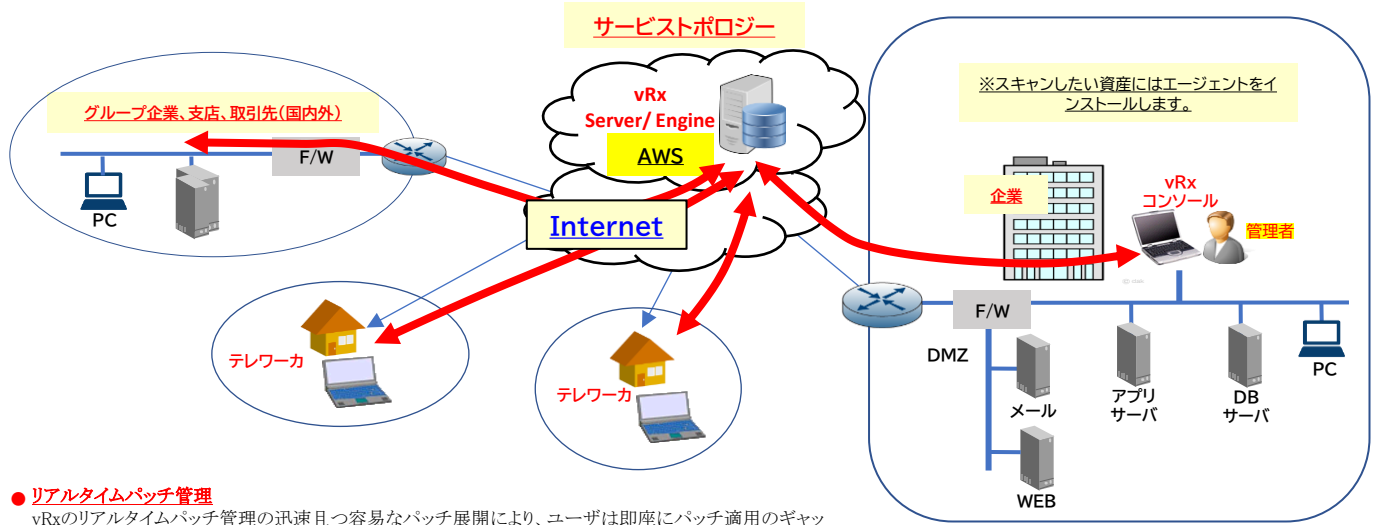
- ◆ Recommended Actions Engine
- ◆ Real-Time Patch Management
- ◆ Patchless Protection

テレワークやリモートワークをサイバー脅威から守ります！

テレワークやリモートワーク、支店、グループ企業を守る最新のサイバーセキュリティソリューション！

管理者から全てのテレワークやリモートワーク及び支店等の資産に対するリモートセキュリティ管理(下記)が可能になります！

- ・脆弱性の検知
- ・パッチ作業+脅威に対する緩和策
- ・パッチレスプロテクション(ゼロデイを含む不明な脅威のブロック)
- ・サードパーティアプリを解析し、優先順位付けし、脅威や攻撃から保護



- **リアルタイムパッチ管理**
vRxのリアルタイムパッチ管理の迅速且つ容易なパッチ展開により、ユーザは即座にパッチ適用のギャップを埋めることができます。
- **優先順位付けマッピング**
vRxは、解析中に見つかった全ての脆弱性の優先順位をマッピングし、組織のセキュリティに直面している最大のリスクを特定します。
- **アプリ&資産リスクスコアリング**
vRxは、組織内の各アプリ及び資産のリスク及び深刻度を、脅威及びエクスプロイトのレベルに基づいてランク付けします。

Organization Top xTags

レポート例	xTags Name	Affected Apps	Affected Assets
	#attack_surface	58	14
	#known_vulnerability	31	11
	#has_patch	32	9

Top 10 Risky Apps

ID	Versions	Assets	0-Day	CVE	Risk Level
Sudo	2	4	0	6	High
Anydesk	1	1	19	1	High
Tcpdump	2	5	0	28	High

● **Vicarius (イスラエル、設立:2016)**

Vicarius社は、CISO、MSSP及びIT管理者向けに設計された**世界初のオールインワン脆弱性管理プラットフォーム**により、重要なアプリ及び資産を保護するのを支援します。パワフルなソリューションは、規制コンプライアンス及びトップレベルのミタリグレードのサイバーセキュリティ保護を確実なものにします。